



創立 昭和34.6.9 承認 昭和34.6.27
 事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内
 電話 0235 (24) 7711
 例会場 鶴岡市馬場町 産業会館5階ホール
 例会日 毎週火曜日 午後12:30～1:30

第1498回例会 会報

1989 (平成1.3.7) 天候 晴

幹事 若生恒吉
 会長 市川輝雄
 クラブ奉仕 佐藤 昇

ロータリーに活力を—
 あなたの活力を
 PUT LIFE INTO ROTARY—
 YOUR LIFE

職業奉仕 佐藤 衛 社会奉仕 迎田 稔
 国際奉仕 松田士郎 青少年奉仕 碓水節雄

出席報告:会員 87 名 出席 62 名

出席率75.00% 前回出席率70.83%
 修正出席 70名 確定出席率83.33%

会長報告

市川輝雄君

- 一億円ふるさと創生交付金は各地に話題を巻き起こしていますが、夢をつくり夢を確実にする大胆なアイデアというものは仲々あるようではないものです。

鶴岡市では「城下町夢づくり」とテーマがきまったようですが、兵庫県津名町では早速一億円で金塊を購入、一年間展示して町民に見せたり触れたりさせながら一年後に同額で売り戻す約束になっているそうです。本当の使い道はその間にじっくり検討しようという訳で奇抜な着想は人々をあっと言わせました。

金のインゴットといえば数年前、ロータリーの職場訪問で田中貴金属の工場へ行った時、時価3千万円の金塊を持たせてもらいました。ズッシリとした手応えが何とも言えないよい気分でした。

来週は東北電力さんへの職場訪問です。きっと何か新しい生活体験が期待できそうです。

- 3月は職場人事の移動から学生達の卒業まで悲喜こもごも別離の季節であります。逢うは別れの初めとか、人との出会いには必ず終局が待ち受けています。しかし、別れはまた新たな旅立ちの時でもあり、そのたびに人間の深みが増していくような気がします。

茶道という一期一会もまた人との出会いを通しての生き方への教訓であります。

明日、関原君、松山君の送別会が催されます。

- 本日は3月の定例理事会が行われ、次の条件が審議されました。

- 1, 500回例会を記念し3月28日の例会時間を変更する件
- 30周年記念行事の次の例会日4月25日を繰上げ例会をする件
- 30周年予算案の補正の件

以上

幹事報告

若生恒吉君

- 会報到着
東京RC鹿兒島西RC
- RI日本支局より
RI情報誌及びポリオ、プラスニュース
- 253地区ガバナー事務所より
ロータリー大学教員のための補助金のご案内
- 杉沢保吉前会員より
新任地からのお便りが入っております。

以上回覧中

ロータリアン日記 ○月○日

日々決算

私達商売をしている者にとって、年末・年始商戦に突入すると一種独特の雰囲気になる。(考えて見れば、年365日、一日一日に変わりはないのであるが)従業員全員が、「一年の総決算だ」と言う気持で仕事をしてくれるのは非常に有難いことである。一人一人が自分の持場で、自分の役割を完全に実行すること、決めた事を決めた通りに実行することが最も大切であるが仲々出来ない。年末・年始だけ実行しよう

としても出来るものではない。それには日々決算、「毎日毎日のお客様との会話、クレームから学ぶ、毎日の改善意識」等が積み重ねられてなければ出来ないことである。売上高目標がある、毎日達成しなければ年間目標に達成しない当然である。「今日のマイナスを明日のプラスにしよう」仲々出来ない事である。日々決算……難しいことであるがやらなければならない。生意気な事を書きましたが、私自身の反省です。一日一日を大切に、

佐古田 義明

○庄内分区より

庄内分区親睦ゴルフ大会のご案内

4月21日(鶴岡RC30周年記念式典前日)

場所 湯の浜カントリークラブ

集合 8時30分 スタート 9時

登録料 2000円 賞品沢山あります申込みは事務局まで

○例会変更

酒田RC 3月15日(水)の例会はポリオ、プラス特別例会の為に 3月15日 6時30分 点鐘

場所 ホテルリッチ酒田

登録料 3000円

- 今月の財団寄附の日は休会となりますので今日の例会に変更します
- 今日の財団寄附金は10,597円ご協力ありがとうございます。
- 8日の関原、松山両様の送別会の出席の締切は今日までです。
- 3月14日職場訪問例会の出欠席も今日までです。
- 今日例会終了後創立30周年行事の各委員長必ず集合して下さい。

新入会員スピーチ

二人の日本画家の教訓

— 土牛と荻須 —

三浦恒祺君



○ 奥村土牛

先日のNHK特集ドキュメンターテレビ放送「百才の富士、奥村土牛」は視聴者に深い感銘を与えた。(1/23, 再放送1/29) 放送の内容は単に絵

の道だけでなく、人の道をも諭された番組として心が洗われる思いで見入った。

土牛は明治22年東京・京橋に生まれて今年の2月18日で満100才を迎えた。ドキュメンターは今なお現代日本画壇の最高峰として精力的に製作を続けている姿を「富士山」を主題にしての執念の精進振りを、飾り気のない有りのままの放映である。

富士山を本格的に描き始めたのが50年前、長野の千曲川沿いに住まいしたとき、富士山を始めて筆にしたと言われている。以来半世紀に亙り富士山を描き続けて来られた、その執念には驚き入る。

そして100才にして、数十年間にも亙り富士山を描き続けて来られて、それでも描き足りず「少々分かって来たが、もう少し描いてみたい」と言われ、富士山に対する美意識、探求心は底知れないものがある。これからは富士山をモチーフにして土牛の美の追及は深く行き着くことはないだろう。

“浄心”無くして富士は描けない”(横山 大観の教訓)

こうした心情での製作された作品は、決して派手な作品ではないが、見る人の心に迫り深い感動

を与えるのである。

最近富士山を描きに「富士宮」まで行かれています。家族に自分から言い出し、100才の体を鞭打ってのスケッチ旅行である。きっと富士山を直に見たくて、じっとして居れなかったのであろう。土牛の気迫が伝わってくる。年をとっても心は澁刺としている。生命の限界を遥かに越えて人のなせる業ではない、その姿は実に貴く美しい。床に休んでいても常に右手の指を動かしている。休んでいても心で筆を持っているのだ。

土牛は筆を持っている時間よりも対象を見ている時間の方が長い。富士宮での旅行では、スケッチされている場の放映はなかったので、きっと旅行中は富士山を観察したに留どまり、恐らくその後には構想を練り絵にされたのであろう。

土牛の「凝視」する眼光は鋭い。対象を見極めるまで筆にしない。画家のなかには、素早く完成させる器用さを誇っている方も少なくないが、土牛は製作に長い時間を掛ける、一作一作が完成まで遠い道程である。

土牛の名言

「芸術には完成は有り得ない」

○ 荻須高徳 (毎日新聞「余祿」参照)

昭和61年にアトリエで製作中に倒れた、84才であった。

荻須さんは姿勢が実によい、背をいつもきちんと伸ばし胸を張っておられた。

白髪の荻須さんは古武士のような風格で、まなざしは鋭く剣豪のようであった。

人に会うときは優しい目をして親しみを感じさ

せるが、一旦製作に入ると、まなざし鋭く真剣そのもので態度は気迫に満ちている。萩須さんはそのような姿勢で50年余りもパリの街を描き続けられた。

萩須さんの絵にはエッフェル塔も、凱旋門も出てこない。もっぱら人々の生活が滲むパリの街を精力的に描かれた。

日本人でありながらフランス人以上にパリを愛し、作品には本当のパリが息づいている。

鋭い目が向けられるのは建物の足元である。

「建物が地面に接するところ、そこに建物の力が集中しており、この部分をしっかり描かないと力が表現できない」と語られている。萩須さんの建物の足元はしっかりと克明に描き込まれ、絵全体に重量感と安定感がある。

世界の画壇は時代の流れと共に、流行が繰り返される。世の多くの芸術家たちはその流行に左右される。

萩須さんは生涯そうした流行に惑わされ専ら自己の信念を貫き通された。

その間つらい思いも味わったであろうが、その都度「自分の立っている足場は何かと考えました。足はいつも地面につけていなければならない。歩くなら自分の足で歩かねばならない」と自分に言い聞かせた。「人間の力も、よって立つ足元にある」との教訓である。若い画家に「どんな大きな理想を立てても、時間の流れるほうが速い。夢を描くより、一日一日大切にしてください」「若いときはまだ先があると考えますが、先なんてない。足元を固めなさい」との忠告である。

「芸術家にとって、そこで踏み止まってもよい、などと言う限界なんではありません。ただ最善を尽くし、考えて考えて試みて、つまずいたりして、疑問を抱いたまま死んで行くのではありませんか」

萩須さんの教訓は、私達の人生、事業の経営にも通ずる貴重な教えである。

土牛も萩須さんも、求道の精神は全く共通しており、教えられることが実に多い。

以上

退会の挨拶



関原 亨 司

只今会長のお話にもありましたが「会うは別れの初め……」等と言いますが、その時が参りましたが、伝統あるこのクラブに入会させていただいて

四年間、公私ともにご指導をいただきました。心より感謝申し上げます。

私は常々心にかけていることがあります。それはご縁と円であります。ご縁があればこそ皆様80名余りの点と点が結ばれより大きな輪になり、大輪の花が咲く訳です。これは私にとって最高の財産です。一生大切にしていきます。ロータリークラブの四つのテスト①真実かどうか②みんなに公平か③好意と友情を深めるか④みんなのためになるのかどうかを肝に銘じて今後頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。酒田にお出の節は是非お声をかけて下さい。

委員会報告

創立30周年記念事業委員会

委員長 風間 眞一 君

記念事業の“南洲碑”につきましても、皆様もご覧になっていると思いますが、昨年中に石碑の土台がタブの木の場所に出来上っておりますが、来週の例会日に当たります3/14(木)の午前中に石碑及び添碑の掘付を行う予定にしております。例会場が東北電力さんになっており少しは離れますが、例会ご出席の前後にでもご覧頂ければとご連絡申し上げます。

また、除幕式は4/22(土)記念式典の当日、9:30~10:00までの間に関係者が中心になり行うことを計画しております。

3/14の工事(午後)終了後は除幕式までシートを被せて保存致します。

記念事業委員会としての発言はこれで終了と思えますのでこの場をお借りしまして一言とお礼を申し上げます。

昨年1月以来記念事業委員会の活動は紆余曲折ありましたが、皆様のご指導ご支援により、ここまで進めて来ることが出来ましたことを厚くお礼申し上げます。

出席委員会

年間皆出席

14年間皆出席	板垣 俊次
13年間皆出席	迎田 稔
4年間皆出席	飯野 準治

2月100%以上出席 6名

125%…張、市川、新穂、斎藤昭、若生、富田(利)

2月100%出席 48名

阿蘇、藤川、布施、早坂、秋野(昭)石井、石川(寿)、石黒、板垣(俊)、板垣(広)、飯野、三井(賢)、毛呂、迎田、松田、皆川、村中、中江、中沢、佐藤(昇)、佐藤(忠)、佐藤(順)、佐藤(衛)、佐藤(友)、莊司、鈴木(善)、鈴木(弥)、佐古田、庄司、鈴木(茂)、佐々木、鈴木(肇)、高橋、丹下、笹原(信)、塚原、忠鉢、碓氷、吉野、日向、来海、御橋、阿部(貢)、阿部(信)、秋元、嶺岸、園部、村上

親睦活動委員会

3月会員誕生

佐藤 昇君 佐古田義明君 斎藤 寿一君
飯野 準治君 中野 清吾君 若生 恒吉君
御橋 義諦君 佐藤 忠君 鈴木 茂男君

奥様誕生

高田 紀子様 板垣地永子様 小松 恵子様
早坂 保江様 秋野 順子様 石川 徳江様
村上 和子様 高橋多恵子様 皆川 直子様
佐藤 晴子様

スマイル

笹原 桂一君 息子が大学に合格致しました。
笹原 信一郎君 長女が先月結婚致しました。

嶺岸 禮三君

スマイルのところで佐々木さんの氏名をまちがいました。又、カットの中に石井敬三さんの名前を落としましたのでお詫びします。

小池 繁治君

営業所が隣のいたがきビルに移転し3月3日より開店しました。電話番号、住所等は同じですので今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

佐藤 衛君

元親睦委員長、藤川君のアイデアで会員の奥様方からもロータリーの行事に参加してもらいたく、日生の松山さんの奥様を先生に「布花教室」を開き、以来2年半家内も皆出席させていただきおかげ様で部屋中花でいっぱいになりました。感謝をこめてスマイルさせていただきます。

本日のロータリー財団寄付 10,597円

ビジター

三浦 次雄君 (鶴岡東RC)

MEMBER'S CORNER

新生 JTB 国内、海外旅行のお申し込み
お問い合わせは

JTB 鶴岡支店

〒997 鶴岡市本町二丁目2-21

☎0235(22)9083

☎0235(22)3071

あれこれくらべてやっぱり電気の湯

東北電力(株) 鶴岡営業所

〒997 鶴岡市本町二丁目2-55

TEL 22-1350

医療法人 斎藤胃腸病院

院長 斎藤 寿一

鶴岡市本町二丁目2-35

電話 (24)7551

迎田 稔

迎田 歯科 医院

鶴岡市本町2-4-25